

重点施策	施策の内容	到達目標	実施担当者	年間予定と進捗状況													年間目標	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月		下半期
1 安全意識の徹底と法令遵守	①点呼の充実 アルコールチェッカー、免許証提示名札健康状態確認、服装、携行品チェック、対面点呼挨拶	・点呼チェックの充実。 ・点呼指摘者を減少させる	松原部長 山口課補	始業時始発時の点検点呼の充実					出勤時監察 4人						帰社時の個別指導	アルコールチェック者を減少		
	②荷主指示の「安全運転の取組」を実施し「全員、毎日、Aランク」を目指す。	・安全評価を全員Aクラスへ ・B評価ポイント数を毎月減少	松原部長 山口課補	人					毎月上旬状況指導	人					Bクラス者年内に0人	全員Aクラス 月30P以内へ		
	③無事故無違反乗務員を増加させ表彰する。	・無事故無違反者比率を増加。 ・無事故無違反者を表彰する。	松原部長 山口課補	1日					創立記念日表彰						表彰4/1	優良乗務員Aクラス		
	④月別「安全標語」募集を増加させ採用者を表彰。	・「安全標語」を毎月募集の掲示。 ・提出者の増加を図る。	松原部長 山口課補	1日					毎月安全標語募集呼掛 0	毎月安全標語募集推進					表彰4/1	乗務事務員も積極参加		
	⑤乗務員全員のSDカードの確認を年1回 8月実施。	・毎年8月過去5ヶ年間の調査 ・9月に周知配布する。	松原部長 山口課補						契約 65 申請 発表	免許証確認					SDカード	毎年確認 ・銅賞を目指す		
	⑥トラック協会の「セーフティー・ラリー」に全社員が参加する。(毎年11月～1月期開催)	・11月より1月までの3ヶ月間。 ・無事故無違反チームを増やす	松原部長 山口課補	参加啓発					参加啓発	申込					SD 配布名	実施 全員参加 全員合格 全員受賞目標		
	⑦運輸安全委員会(安全衛生委員会)の定期開催。	・原則毎月1回、第4週に開催。 ・安全性の向上労組連携協議	松原部長 山口課補	毎月開催					毎月実施	済					総括	毎月開催 ・安全運行を目指す		
	⑧「無事故日数」・「エコドラB数」を掲示し、安全意識を高める。	・無事故の連続日数を掲げ安全啓発する。	松原部長 山口課補	無事故日数の掲出・掲示					毎日掲示	無事故日数の掲出・掲示					毎日掲示	毎日掲示過去最長日を目指す		
2 安全投資	①交通安全講習会開催費用(年2回の参加従業員残業手当等)	・春秋の2回の開催 ・全乗務員と派遣社員も対象	松原部長 山口課補	依頼 申込 準備 開催					秋李交通安全講習会実施	依頼 申込 開催					講師と連携	開催記録組合と共催		
	②自動車安全運転センターSDカード分析調査継続。	・会社の安全性評価の向上。 ・乗務員各自のSDカード申請	松原部長 山口課補	依頼 調査 発表					交通安全講習会後配布	実施達成					トラックSR	自動車安全運転センター		
	③デルタ自動車免許教習所で実走教習を実施。	・事故惹起者・長期療養復帰者 ・囁託・契約社員採用時実施	松原部長 山口課補	デルタの評価書に基づき注意指導					データ確認	随時評価書に基づき注意指導確認					公平な評価	第三者評価を基に指導		
	④乗務員の「安全4冠」達成者へ手当支給し安全業務への意識を啓発する。	・支給率約70%を80%へ向上。 ・A評価無事故無当日欠無苦情	松原部長 山口課補	個別安全指導・安全情報					データ確認	個別安全指導・安全情報					条件変更の徹底	・月2回のB評価はA範囲		
3 情報連絡体制整備	①ドラレコの「ヒヤリ・ハット」提出と情報交流で安全意識を高める。	・事故発生地図一覧掲出周知 ・事故惹起者ヒヤリ情報提出	松原部長 山口課補	安全委員会より呼びかけ提出促す					呼び掛け。	逐次提出され情報交流する					ヒヤリハット提出啓発	ドラレコによる動画で提出		
	②荷主環境局と春秋年二回の情報交流を開催する。	・全まち美化推進課と定期交流 ・各事務所の苦情要望把握。	松原部長 山口課補	訪問交流					運転マナーをテーマ	9月以降毎月荷主と情報交換					荷主の要望 当社の要望 交流	協同組合の要望懇談		
4 安全研修安全教育	①交通安全講習会の春秋季年二回開催する。再掲	・外部専門講師の安全講習 ・当社加入の協同組合と共催。	松原部長 山口課補	申請 準備 開催					運転マナーをテーマ	申請 準備 開催					法令順守 マナー運転	協力企業の 運転乗務員		
	②新規契約乗務社員などに安全作業講習を実施。	・作業安全マニュアルを徹底。 ・ビデオ等と現場教育の充実。 ・WS水曜早期学習会を開始。	松原部長 山口課補	作業員 逐次実施 新規契約者 1					対象者発生毎実施	逐次確認実施					徹底事項の検討	実施状況 チェック		
	③事故再発者及び療養回復等の乗務復帰者指導。	・交通事故対策機構等産業界相談。運転教習所評価を活用	松原部長 山口課補	対象者逐次実施					常時連携	逐次実施					個別指導	適性等総合的指導		
	④運行データの自己確認を自主的・定期的に実施し安全意識の向上に努める。(安全運転の取組による)	・デジタコデータを検索配布。 ・安全運転取組基準の励行	松原部長 山口課補	課題のある乗務員へ 個別配布					安全運転の啓発指導	個別自主的データチェック					走行データ 情報提供	自主的に データ確認		
	⑤運行管理者や整備管理者等の研修に参加する。法令セミナーなどの研修を積極的に受ける。	・トラック協会主催の研修・国土交通省運輸安全関係法令調査	松原部長 山口課補	法令セミナー参加・法令改正調査					トラ協と連携運行・整備管理等	法令講習や各種セミナーなど参加					逐次法令セミナー参加 運行整備管理者講習受講			
	施策の内容	到達目標	実施担当者	年間予定と進捗状況													年間	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	

	施策の内容	到達目標	実施担当者	年間予定と進捗状況														
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間
5	点検実施	①安全点検委員会にて点検するチェック内容の検討。	・点検項目を審議し項目修正。 ・点検を行い逐次社長へ提出。	千田部長	審議	異変事項があれば考慮する				上半期点検					点検委員会	下半期点検	点検委員会 新項目検討	
		②事故・災害防止・緊急対策の取組を年一回チェック。	・震災時緊急対策マニュアル点検・適切なチェック項目を設定。	千田部長	走行時緊急対策シェイクアウト取組 当社の乗務員第一次緊急対応策				グループ 討議	訓練実施			訓練結果			緊急時運 行対策	救命3時間 講習の実施	
		到達目標	実施担当者	年間予定と進捗状況														
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間
6	健康の 増進	①定期検診及び特定診断を全社員に実施する。	・全社員の健康診断受診管理 ・健康維持啓発	田野課長 奥村主任	検診	結果	再検	未検診者指導		全員受診	要治療者・精検受診者・経過観察						毎年実施	健康増進啓 発
		②受診者の要精密検診者や要治療者をフォローする。	・受診後注意指摘者を観察 ・病欠欠勤休暇者の経過観察	田野課長 奥村主任	経過観察、病欠者チェック				要観察者 把握	経過観察、病欠者チェック						毎年実施	常に観察	

	施策の内容	到達目標	実施担当者	年間予定と進捗状況													
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期
7	次年度 計画立案	①安全点検結果を基に次年度安全方針を設定する。	・安全点検項目を新たに改善。 ・前年度の点検結果を生かす。	松原部長 千田部長	審議	異変事項があれば考慮する				点検項目 の改善図 ズ	点検チェック項目検討			次年度検討		総括後次 年度検討	社長に提出
		②安全対策(アマネ)情報を外部に開示する。	・部外者にも分かる掲示に ・弊社HPに速やかに掲載。	松原部長 中西顧問	社内・外部へ掲示・開示する				入口掲示 云議至掲 示	要望あれば書面で配布する						多数の視 聴者閲覧 確認	関係へ相談

8	事故数	①交通事故、②バック事故	前年度目標 15件	H28年	2	1	1	3	2	2	11件	1	1	5	3	1	5	16件	27件
		③接触事故 ④他車原因 ⑤その他	当年度目標 17件	H29年	2	1	1	0	2		6件							件	件
			達成率目標 137.0%																

チェック評価委員会の取り上げ課題		達成率目標 137.0%																
9	2016年度特に追加された取組のWS学習で高評価	契約社員への環境安全 学習会の連続開催	契約積み込み作業員 契約運転乗務員	27人	・昨年11月2日より毎水曜の早朝実施中													高評価
				26人														

*	2017年度課題となるもの	①(微小)事故の増加を防止する対策。	事故防止強化委員会の開催、緊急集会開催													
		②従業員の健康管理を進める啓発。	ストレスチェックの結果を返信し、自己管理支援													
		③従業員のスキルアップの為の教育。	水曜早朝学習会とHKS検定試験の実施へ発展													